

使用上の注意改訂のお知らせ

2020年7月

抗パーキンソン剤

処方箋医薬品^{注)}

メネシット[®]配合錠 100

メネシット[®]配合錠 250

(レボドパ／カルビドパ水和物配合)

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたのでお知らせいたします。

今後のご使用に際しましては新しい添付文書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

弊社製品のご使用にあたって、副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

MSD株式会社

《改訂概要》

改訂項目	改訂内容
【禁忌】	「非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中の患者」を削除しました。
3. 相互作用 〔併用禁忌〕	「非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤」を削除しました。

- 改訂後の添付文書全文は、医薬品医療機器総合機構の情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ (<https://www.msconnect.jp/>) に掲載しております。
- 流通在庫の関係から、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数を要しますので、今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

《改訂内容》

改訂後	改訂前						
<p>【禁忌（次の患者には投与しないこと）】 (1)～(2) 略（変更なし）</p> <p style="text-align: right;">削除→</p>	<p>【禁忌（次の患者には投与しないこと）】 (1)～(2) 略 (3)非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤を投与申の患者（「重要な基本的注意」「相互作用」の項参照）</p>						
<p>【使用上の注意】 略（変更なし） 3.相互作用</p> <p style="text-align: right;">削除→</p> <p>〔併用注意〕（併用に注意すること） 略（変更なし）</p>	<p>【使用上の注意】 略 3.相互作用 〔併用禁忌〕（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤</td> <td> <p>血圧上昇等を起こすおそれがある。</p> <p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合は少なくとも2週間の間隔をおくことが望ましい。</p> </td> <td> <p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤により、カテコールアミンの代謝が阻害され濃度が上昇する。</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>〔併用注意〕（併用に注意すること） 略</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤	<p>血圧上昇等を起こすおそれがある。</p> <p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合は少なくとも2週間の間隔をおくことが望ましい。</p>	<p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤により、カテコールアミンの代謝が阻害され濃度が上昇する。</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤	<p>血圧上昇等を起こすおそれがある。</p> <p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合は少なくとも2週間の間隔をおくことが望ましい。</p>	<p>非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤により、カテコールアミンの代謝が阻害され濃度が上昇する。</p>					

====部：削除（自主改訂）

《改訂理由》

【禁忌】、相互作用〔併用禁忌〕

「非選択的モノアミン酸化酵素阻害剤」は現在販売されていないため削除しました。

製品情報お問い合わせ先

MSD カスタマーサポートセンター
 医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961
 <受付時間>9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2020年7月
 改訂連絡番号：20-13

MSD 株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
 ホームページ <http://www.msd.co.jp/>